

骨位校正用アダプタ 41750

*【禁忌・禁止】

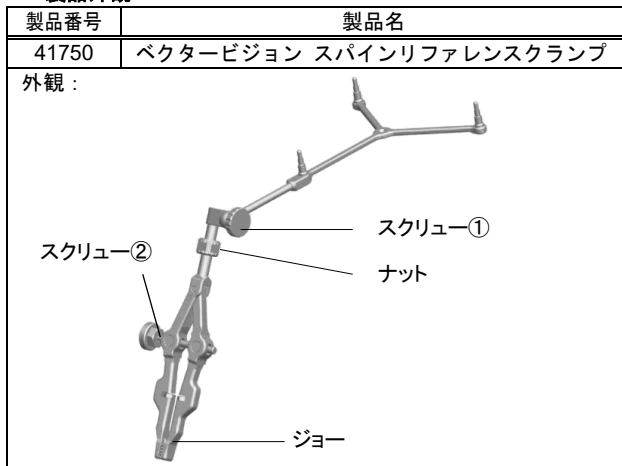
- 本品は、棘突起のみに取り付け、他の組織や神経系の部位には取り付けないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は患者の位置情報を検出するために、患者の脊椎骨に取り付け、ブレインラボ社製ナビゲーションユニットと併用して使用する。

2. 製品外観



原材料：ステンレス鋼

3. 原理

本品と併用するブレインラボ社製ナビゲーションユニットは、ブレインラボ社製赤外線反射ボールにより反射された赤外線を検知することにより、赤外線反射ボールの位置を認知する。患者の脊椎骨に、赤外線反射ボールを取り付けた本品を装着する。ナビゲーションユニットがあらかじめ、本品の形状等の情報を保有していることから、赤外線反射ボールの位置より、本品を取り付けた患部の位置情報がナビゲーションユニットのモニターに表示される。

【使用目的又は効果】

本品は、骨接合手術等の骨手術に用いる手動式の手術器械であり、再使用可能である。

【使用方法等】

<使用前>

本品は未滅菌のため、使用に際しては必ず洗浄・滅菌を行う。滅菌条件については「洗浄・消毒・滅菌ガイド」を参照すること。

<使用方法>

1. 本品を患者の脊椎に取り付け、固定する。
2. 調整スクリューで、アレイの角度を調整する。
3. 必要に応じて、付属の専用工具を用いて、調整スクリューを固定する。

*【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

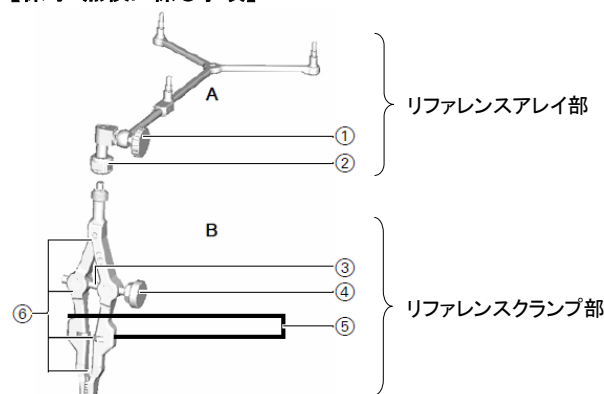
- ・ 本品を落下させた場合、またはその他の損傷が発生した場合には、そのまま使用しないこと。
- ・ 本品の取り付け中に、棘突起を傷つけたり、損傷したりしないように十分注意すること。
- ・ 本品がしっかりと固定されるまで、中程度の力を加え、可能なら手でクランプを取り付けること。

- ・ 患部の脊椎に棘突起が無い場合、本品を患部脊椎の隣の棘突起に取り付けること。この場合、ナビゲーションユニットは、隣の脊椎間の動きを補正できないため、精度確認を確実にすること。
- ・ 本品が、全ての工程において、しっかりと棘突起に取り付けられていることを確認すること。[本品が移動した場合、精度の低下を引き起こす原因となり、患者の危険に繋がる可能性がある。]

【保管方法及び有効期間等】

常温・常圧下にて保管すること。

【保守・点検に係る事項】



<分解の方法>

1. ナット②を緩め、リファレンスアレイ部（A）をリファレンスクランプ部（B）から外す。
2. リファレンスアレイ部とスクリューヘッドの間に隙間ができるように調整スクリュー①を緩める。
注意：スクリュー①を完全に外すことはできない。外そうとすると、これを損傷、破損してしまうおそれがある。
3. スクリュー④を緩めてジョー⑤を最大限開く。

<再処理の方法>

1. 前処理を行う。ネジ山③およびジョイント⑥の隙間を徹底的に洗浄する。
2. 汚れが残っていないか、特にすべてのネジ山と隙間を確認する。
3. 自動洗浄と消毒を行う。
4. 高圧蒸気滅菌を行う。

分解・再処理の方法については、必ず「洗浄・消毒・滅菌ガイド」を確認すること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売業者】ブレインラボ株式会社

電話番号：03-3769-6900

【製造業者】

ブレインラボ エスイー

Brainlab SE

製造国名：ドイツ連邦共和国